

愛知県神道政治連盟 / 岡崎市トリプル選挙 安倍総裁来たる



9月22日、岡崎市長選、愛知県議会議員補欠選挙、岡崎市議会議員選挙のトリプル選挙が開票された。

この選挙は自民党公認候補の当落が今後の国政の行方に色濃く影響すると見られた事から、自民党本部を始めとして中央政界の関心も高く、マスコミも注目する選挙となった。

このため、選挙戦終盤の10月19日午後、市長候補内田康宏氏の応援のため、自民党総裁に選ばれて間もない安倍晋三氏が、同候補が永年安倍晋三総裁の尊父である安倍晋太郎氏の秘書であった縁もあり、地方選としては異例の応援に駆け付けた。このため神政連愛知県本部は役員・青年行動隊が安倍氏歓迎の為に馳せ参じた。

また、県議会議員補欠選挙において神道政治連盟愛知県本部会長の服部憲明氏が自民党中根義高候補の選挙対策部部長を務めたことで、多くの会員が同候補の支援を行った。

2012年(平成24年)10月22日

岡崎

内田さん 新市政へ抱負

「二十一日開票された岡崎市長選、愛知県議会議員補欠選挙、岡崎市議会議員選挙のトリプル選挙の結果、内田康宏氏が市長に選出された。内田氏は、市長選で自民党公認候補として立候補し、当選した。内田氏は、市長選で自民党公認候補として立候補し、当選した。内田氏は、市長選で自民党公認候補として立候補し、当選した。」

政争より「市民」主眼に

「自民党の目録、地方議員と」と主張は「観光振興」

「本一愛知の目録、地方議員と」と主張は「観光振興」

「本一愛知の目録、地方議員と」と主張は「観光振興」